

令和7年度使用
豊能郡地区中学校教科用図書
選定理由書

令和6年度豊能郡地区教科用図書採択協議会

令和7年度使用豊能郡地区中学校教科用図書選定理由書

豊能郡地区教科用図書採択協議会

国語：株式会社 三省堂 「現代の国語」

- 生徒にとって興味・関心のある題材で、適切な文章の記述と分量になっている。例えば、1年の「一〇〇〇円の価値を考える」では、近年急速に普及しているキャッシュレス決済を取りあげている。また、3年では「フロン規制の物語」において、常識を疑う思考力を高めることや、他の教材においても自身のこれからの生き方や働き方について考える題材が取りあげられる等、発達段階が考慮されていることが特に評価できる。
- 「思考の方法」では、思考の仕方を「思考ツール」等を交えてまとめており、教材の学習内容を深められるよう、図解を用いて解説されている。
- 「情報」をどのように扱うかについては、ポイントを漫画でまとめており、生徒が主体的に学びに向かうために読みやすくまたわかりやすく構成がされている点が良い。
- 巻末に文章の「読み方に関するポイントのまとめ」や「メモの仕方」、「話し合いの仕方」など、対話に関わる知識や技能がまとめられており、言語活動を進めるにあたってのポイントがたいへんわかりやすく、付録が充実している。
- カラーユニバーサルデザインの観点を重視し、どの生徒にとっても使いやすい教科書となるよう配慮している。
- 二次元コードから、500以上の多様なコンテンツにアクセスができるようになっており、より自分が今必要としていることを検索し、活かしていく個別最適な学びが提案されている。

書写：光村図書出版株式会社 「中学書写」

- 「学びのカギ」には、学習のポイントが丁寧にまとめられており、特筆に値する。
- 見開きに半紙と同じ大きさの手本、前ページにポイントを配置することで、すべての生徒にとって書きやすく、指導者にとっても指導がしやすいように非常に配慮がされた教材となっている。
- カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザイン書体を取り入れ、コラムでユニバーサルデザイン書体の説明があることが特に良い。

- 「中学校書写スタートブック」のページに「左手で書く人」と表記のあるQRコードが記載され、左きき用の動画をウェブ上で見ることができ、きめ細かな配慮がされている。
- 「楷書」については、基本の点画の書き方と筆使いを、朱筆等を用いてわかりやすく示している。「行書」については、段階を経て学べるよう工夫されている。
- 課題の最初に「考えよう」の項目があり、見方・考え方を働かせながら、楷書と行書の使い分けなど、対話を通して考えることができるように工夫されている。
- 「多様な表現」については、「全国文字マップ」で身の回りの様々な文字を取りあげている。また、有名人のサインを取りあげた特集があり、手書きのよさに関してもマンガで親しみやすく表現していることは学び方の工夫として特に評価できる。
- 日常に役立つ書式（手紙・葉書・年賀状・包み紙・願書など）の特集があるため、授業以外でも興味を持ち、調べ、実際の社会生活に活かした学びを特に進めることができる。
- 硬筆学習用の「書写ブック」が別冊となっており、非常に使いやすい。
- QRコードコンテンツでは、書き方（筆使い）の説明が2つのアングルを組み合わせた動画で解説されているため、非常にわかりやすい。

社会(地理的分野) : 株式会社帝国書院

「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」

- 課題をつかむきっかけとなる導入資料を左上に、資料が周りのページに配置され、本文はページの中央、見開きごとに学習課題が明記されると共に、「確認しよう」と「説明しよう」により1時間の学習内容を確認し深めることができるよう工夫されている。また、小学校社会科の学習や他分野、他教科と関わりがある内容が、見開き左ページ下部等に示されている。
- 世界の多様な文化の尊重について、理解できるよう適切に取り扱われている。世界の諸地域ごとに「未来に向けて」や「地理プラス」が設置され、諸地域の多様な価値観や文化の共生をはかる人々の姿が紹介されている。
- 地形図が標高差を含めて非常に見やすく、地図帳との連携が図られており、活用が促されている。
- 巻頭でSDGsについて取りあげ、「日本の諸地域」の各地方での「未来に向け

て」において事例を掲載して関連付けしている。主体的に現代の世界や日本の課題を読み解いたり追究したりする学習展開になるように工夫されている。

- 写真、挿絵、図、表などの資料については、非常に見やすく、比較しやすいようになっている。
- 各章・節末の「学習を振り返ろう」では、章・節の学習で得た知識を活かして、「地理的な見方・考え方」を働かせつつ、「単元を貫く問い」に対して思考ツールを用いて、自分の考えを整理・構造化できるように工夫されている。

社会(歴史的分野) : 日本文教出版株式会社 「中学社会 歴史的分野」

- 時代を見通す「導入」「本文」、資料をもとに考える「チャレンジ歴史」、学習の幅を広げる「歴史を掘り下げる」、学習した時代の特色を考える「まとめとふり返し」という流れで単元が構成されており、使いやすい。
- 構造化された「編(章)の問い」や「節の問い」が設定されている。また、その解答を行うコーナーやページも設定されている。
- 課題解決に取り組んだ先人の紹介や差別問題についてしっかり説明されている。歴史の中で生まれた差別と現代の諸課題との関わりを生徒が考える機会を設定できる。
- 琉球王国から沖縄へ、アイヌの人々、社会運動の広がり、水平社の創立など、様々な人権運動についてしっかり説明されており、今もなお解決を迫られる課題との関わりについて、生徒が考えることができる。
- 話し合いなど、対話的な活動が効果的に取り入れられるものについて、「学び合い」のマークが付せられている。
- 時代像を具体的にイメージできる図版を豊富に掲載し、「資料活用」を使って、いろいろな切り口から、ポイントをおさえたい資料の読み取りができるようになっており、充実している。
- 各時代の特色や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に取りあげ、歴史の大きな流れを的確におさえられるように、端的にまとめている。

社会(公民的分野) : 教育出版株式会社「中学社会 公民 ともに生きる」

- 公民分野に必要な社会科の基礎的・基本的な事項がおさえられているだけでなく、社会の課題や今日的課題が反映された事象が積極的に取りあげられており、学習と社会とを結びつけやすい。
- SDGsの達成目標や他教科(小学校課程も含む)の学習内容との関わりが、マークとともに見開き下部に示されている。
- 第2章の中で、「人権」という項目をしっかりと設定している。内容も、様々な差別の実態やそれに関連した過去のできごと、なぜ差別が生まれてしまうのかなどについて考えられる内容となっており、基本的人権に関わって非常に丁寧に掲載されている。
- 見開きの始めにある「LOOK!」や「学習課題」で社会との関わりを意識した課題が設けられ、社会課題の解決に結びつけながら学習展開ができるよう工夫されている。見開き最後の「表現」では、他者との対話や意見交換を通して、協働的学びができるよう課題が設定されている。
- 章末の「TRY!」「学習のまとめと表現」では、各章での学習内容を踏まえたうえで、実際の社会の課題について考え、さらに共有することで、いろいろな考えに触れ、自分の考えの深化にもつながる構成になっている。
- 「学習のまとめと表現」のページでは、「HOP!」「STEP! ①②」「JUMP!」を通して、語句の意味や章の問いを考えることで、学習した内容の定着につなげることができる。
- 「公民の窓」や「持続可能な社会に向けて」などで、単元の学習と関連する社会の課題に対して、自分ごととしてとらえ、解決に向けた関わりを考えられる内容が取り扱われている。

地図: 株式会社帝国書院 「中学校社会科地図」

- 「主題学習?」のコーナーでは、自ら調べたり考えたりする学習課題が設けられており、個別最適な学びを充実させるとともに、その課題をテーマに、生徒が意見交流を行う活動を通して、協働的な学びが充実するように工夫されている。
- 「地図で発見!」のコーナーや二次元コードからつながるデジタルコンテンツを通して、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。
- 「地名を手話で話す」コーナーが設けられ、インクルーシブ教育などに配慮されている。

- 問い「地図で発見！」が数多く設置されている。地図の読み取りだけでなく、「社会的な見方・考え方」を働かせた学習に活用できる。
- 資料は、地域の特徴を適切に理解できる題材が選定されている。そのため、教科書で取り扱われる内容をより深められる。
- 修学旅行の事前・事後学習や平和学習などにも活用できるよう、様々なイラストが入った親しみのある地図が多数掲載されており、調べ学習がしやすいように工夫されている。
- 日本の自然災害・防災について扱うページでは、衛星画像や台風のしくみをイラストなどで示すなど、理科の学習内容と関連づけることができるようにしている。

数学： 東京書籍株式会社

「新編 新しい数学 ～MATH CONNECT 数学のつながり～」

- 写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっている。例えば、1年では、基本となる正の数・負の数を捉えさせるため、数直線を用い具体的な活動から抽象的な思考へと、段階的に適切に取り扱われている。
- 生徒一人ひとりの特性や学習進度に応じた「個別最適な学び」が実現できるように豊富な問題が設けられており、多様な見方・考え方を自覚できるようになっている。
- 全体に適切な内容・分量の問題が配列されており、知識・技能やそれらを活用する力が段階的に身につくようになっている。
- 文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。
- 数学どうしのつながり、身のまわりや社会と数学とのつながりを示すことで、数学の必要性や有用性を生徒が感じられるよう工夫されている。
- 問題解決的な学習を重視し、自立的、協働的に解決することを通して、自他の価値を尊重しながら能力を伸ばし、創造性が培えるようになっている。
- 当該学年の学習の土台となる内容をまとめて振り返ることができる「学びのベース」が設定されている。他にも、問題発見・解決の過程を意図した「深い学びのページ」が、設けられている。
- 数学の問題発見・解決の過程を念頭に置き、「見方・考え方」を働かせた「数学的活動」が適切に設定されている。また、「章の問題B」では、全国学力・学習状況調査でも求められる実生活や他教科の学習など様々な場面で知識・技能を活用する力を問う「活用の問題」が用意されている。

- 「章のとびら」（導入）では、生徒の関心・意欲を高める日常生活の場面を提示し、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

理科：株式会社新興出版社啓林館 「未来へひろがるサイエンス」

- 大きい紙面のA B判サイズが採用され、特に写真や図がわかりやすい。
- 見方・考え方の正解ではなく、探究の足場となるヒントを示すことで、主体的な思考をしやすいように非常に工夫されている。
- 探究の過程で、別冊の「探Qシート」を利用して、自分の考えを自由に書きこむことができる。書くことで主体的に考えられ、探究の流れを非常につかみやすい構成になっている。
- 特に単元の導入が工夫されており、単元の学習に関連した身の回りの疑問について考えることで、この単元の学習の見通しが立てやすい構成になっている。
- 単元初めの問いと同じ問いを単元学習後に再考することで、自分の成長を実感することができるようになっており、自己の変容を知ることで、自己肯定感が高まるように工夫されている。
- 学習した内容と日常生活や社会に関連したコラムが、節末に配置されている。コラムを通して、生徒に理科の有用性が伝わるように工夫されている。
- 生徒が理解しにくい内容や誤解しやすい内容に、「例題」や「なるほど」が設定されている。生徒の誤概念を取りあげ、正しく理解するポイントが示されている。
- 学びを活かして日常生活に見られる現象を考察する場面が、特に多く取りあげられている。
- 紙面に二次元コードが 500 以上あり、デジタルコンテンツを活用して学びが広がるように工夫されている。

音楽(一般)：株式会社教育芸術社 「中学生の音楽」

- 基礎的・基本的な学習を踏まえ、より深まりのある学習や発展性のある学習にも取り組むことができるよう、とても工夫されている。
- 主体的・対話的で、より深い学びをできるよう設定されている。また、文字の大きさ、イラスト、写真など印刷の発色がよく、楽譜を含めて、大部分のページでユニバーサルデザインフォントが使用され、生徒への配慮がより行

- き届いている。
- 3学年を通して、「声の出し方」がわかりやすく説明されており、カンツォーネの選曲がより適切である。
 - 楽典がリズムゲームを使って楽しく学習できるよう工夫されている。特に今年度全学年一新された巻末の「音楽を形づくっている要素」では、生徒にとって難しく感じる内容をわかりやすく示されている。
 - 鑑賞教材について、曲の構成を楽譜やワークシートによって、より深く学べる工夫が多く見られる。「交響曲第5番 第1楽章」では、「動機」がとても見やすく示されている。また、今回、中学生になじみのあるミュージカルが、新たに掲載されている。
 - 創作や指揮について、説明や図でより詳しく説明されており、3学年を通して発展的に学習することができるよう配慮されている。
 - 他者を尊重し、自然を愛する心を育てることのできる教材や、道徳的観点と関連付けられる教材が取りあげられている。
 - 「ポピュラー音楽」では、海外と日本のジャンル別に掲載され、CDジャケットの写真と解説が見やすく、生徒が関心を持ちやすい内容となっている。
 - 「ルールを守って音楽を楽しもう！」では、音楽著作権について、わかりやすく示されている。
 - 「二次元コード」は、生徒が協働して学習を進められるよう配慮されている。

音楽(器楽合奏)：株式会社教育芸術社 「中学生の器楽」

- 基礎的・基本的な奏法について、適切な文章とイラスト、写真を用いて配慮されており、生徒にとって親しみやすい教材が配置されている。また、生徒の心身の発達段階に即して学習が進められるように配慮されている。
- 「学びのコンパス」をはじめ、主体的、対話的で深い学びを実現するための活動が充実している。また、「考えたいポイント」では生徒が課題意識を持ち、主体的に学習に取り組むことができるよう示されている。
- アルトリコーダーでは、導入のための曲が充実しており、基本練習から独奏・アンサンブルと段階的に配列されている。また、「リコーダーの種類」や「楽器を知ろう」など生徒が興味をもって学習できる工夫がされている。
- 和楽器の取り扱いについて、写真や図版をふんだんに用いて、わかりやすく説明されている。また、初級として導入する曲が多く、弾き歌いができるよう工夫されている。

- クラシックギターの取り扱いについて、写真など視覚的に工夫がみられ、「楽器を知ろう」や歴史・種類などわかりやすく説明されている。
- 豊能郡内の中学校で取り組んでいるアルトリコーダーとギター・和楽器について、教材がよく考慮され、扱いやすい内容と配列になっている。
- 「リコーダー」や「和楽器」などで演奏できる「名曲の旋律」が紹介され、それらに親しめるよう工夫されている。
- 小物打楽器の説明や写真が多く、見やすくわかりやすい。
- 「楽器図鑑」では、楽器の種類が多く、わかりやすく掲載されている。

美術：開隆堂出版株式会社 「美術」

- 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を取り扱っているページの割合を多くし、生徒がより身近に美術を感じることができるよう工夫されている。
- 表紙は凹凸のある特殊な加工がされており、視覚だけでなく、触覚からも想像を膨らませ、美術への関心・意欲を高められるよう工夫されている。
- 教科書本編にはコートマット紙が採用されており、作品の写真映えに加え、反射を極力抑え、より集中して鑑賞しやすい仕上げとなっている。
- 写真と文章が見やすく、レイアウトが学習しやすいようになっている。
- 原寸大の作品画像が掲載されており、授業の導入などで使いやすい。
- 題材ごとに育成すべき資質・能力の三つの柱に基づいた「学習の目標」がわかりやすく示されている。
- 生徒が、造形的な視点を意識して表現や鑑賞の活動に取り組める内容が取りあげられている。
- 巻末資料で、材料や用具、表現方法の特性などを取りあげ、学習した内容をより確実に習得できるよう補充している。

保健体育：株式会社大修館書店 「最新 中学校保健体育」

- 本文が読みやすく、わかりやすい。また、写真、挿絵、図、表などの資料が、適量である。
- 見開き2ページで1単位の学習となっており、課題を見つけ、思考・判断し、他者に伝える形式での学習方法が、学習指導要領に準拠している。
- 「課題をつかむ」では、課題の提示がわかりやすく、すべての生徒が答えられ

- る問いかけになっている。
- 「キーワード」で重要語句を明示し、基礎的・基本的な事項が定着するように配慮されている。
 - 単元末の特集資料では、学習内容と関連した内容を詳しく取りあげ、日常生活の合理的な実践を促すことができる。
 - デジタルコンテンツが充実しており、動画や資料を用いて授業を進めることができる。
 - QRコードを読み取ると、生徒自身の媒体で学習することができ、家庭学習の推進につながる。
 - 章のまとめでは学習したことを振り返って、日常生活に生かすことができる。
 - 性の多様性やSDGsなどの身近な話題にふれ、保健体育の学習と関連づけて関心を高めることができるように配慮されている。

技術・家庭(技術分野)：教育図書株式会社

「新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する／スキルアシスト」

- 各分野で課題解決のためのものづくりの過程が、よりわかりやすく示されている。イラストやQRコードの配置のタイミングも良く、見通しを持って製作することができるようになっている。
- 章末の「未来をつくろう」では、既習事項の発展的な内容を紹介し、技術が社会でどのように役立っているのかよりわかりやすく示されており、トレードオフの視点で技術を捉え、深い学びにつなげることができる。(例：P68)
- 2章の「プチ問題解決にチャレンジ」の製作題材は、基礎技能が学べる易しい題材となっており、作業工程がより丁寧に示されていて、最も効率的に生徒が見通しを持って実習に取り組めるようになっている。
- 別冊「スキルアシスト」では、製作に必要な道具類の使い方や安全面に配慮した事項などが端的にまとめられており、教科書のQRコードによる映像資料と合わせて使用することで、生徒がより主体的・対話的に取り組むことができる。
- 2章「技術を生かそう」の最初に4コマ漫画の資料が示されており、ユニークな工夫で、より視覚的に製作をイメージしやすいように配慮されている。

技術・家庭(家庭分野)：開隆堂出版株式会社

「技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ」

- 文章が、適当な分量となっていて見やすい。課題を解決するための手がかりや、本文内容の理解を助ける科学的な資料を効果的な表現や分量・大ききで示している。
- 学習指導要領に沿った構成となっている。
- 写真の取り扱いが多く、視覚的にわかりやすくなっている。
- QRコードで動画を見ることができ、視覚的に学びを深めることができる。
- 「先輩からのエール」の設定や「参考」「発展」の設定により、キャリア教育や現代の課題に連結できる資料が掲載されている。例えば、現在の社会問題である「ヤングケアラー」「成長における公的なお金」「アタッチメント(愛着)と探索行為」「子ども食堂」「フードバンク」等が掲載されていることにより、その話題にふれやすくなっている。
- 挿絵には、科学的な根拠が視覚的にわかるようになっている。例えば、「部屋の換気方法」「体の中でも食べ物のゆくえ」「災害発生時の対応」等がそれにあたる。
- 原寸大の写真を用いるなど、実感をともなった学習ができるように工夫されている。例えば、「1日にとりたい食品と分量」「子どもの成長をみてみよう」がそれにあたる。
- 資料が豊富で、視覚的に学習する事ができるため生徒の理解度が上がる工夫が見られる。コロナ禍以後の情報が掲載されており、リアルタイムの情報が載っている。例えば、「衣料品はどこでつくられるのだろうか?」「家庭生活を支える社会」「アニサキス」の掲載は、興味深い。
- 「学習のまとめ」では単に重要語句を確認するだけにとどまらず、考えさせることに重点が置かれ、生徒が振り返る時間の設定がされていて非常に良い。教科書に書き込める形式が、ニーズにあっている。

英語：開隆堂出版株式会社 「Sunshine English Course」

- 各単元では、最初に絵や写真が配置されている。また、活動ごとに、本文や写真などが効果的に配置され、生徒が興味を持つように非常に工夫されている。
- 各 program で、「場面設定→予備知識の習得→本文→review、retell による振り返り→発信→整理」の構成となっており、ゴールまでにすべての技能を活用できるように工夫されている。

- 「Our Project」が年に3回設けられており、各単元で学ぶ表現の使用目的や場面設定がしてあり、既習事項を活用しながら言語活動に取り組めるように非常に工夫がされている。これは、学習指導要領の「自分で考えて話す力の育成」に適している。
- 生徒が主体的・協働的に英語を学ぶことができるように、非常に工夫されている。
- 各単元にペアやグループで行う活動が多く取り入れられており、学習指導要領の趣旨を確実に実施することができる。
- 特にオーセンティックな英文が使用されており、質量ともに充実している。
- 題材が多岐にわたり、中学生として英語で触れ考えて欲しいトピックが提供されている。
- 構成が3年間を通して統一されており、見通しを持ちやすい。
- 各レッスンは4技能5領域を統合的に養成でき、実際のコミュニケーションにつながる学習ができるようなタスクで構成されている。
- 英語学習における重要な技能を系統的に扱っており、自ら学び、発信する主体的な学習者の育成につながる。

道徳：株式会社 Gakken 「新版 中学生の道徳 明日への扉」

- 自分の生活と関連させて考えられる教材が多く、生徒が興味を持ちやすく、場面を想像しやすい。そのため、教材が生徒にとって非常に理解しやすく、とても考えを広げやすい。
- 主人公視点で考える作品が多く、生徒が考えをととても深めることができる。
- 様々な教材において、人権尊重について認識を深めることができるように配慮されている。
- 題名の下にある一言が生徒に語りかけるように書かれており、生徒の興味を掻き立てる。
- 「クローズアップ」のページが多面的・多角的に考えを広げたり、考えを深めたりするきっかけとなる。
- 「考えよう」では、教材についての発問だけでなく、社会全体に問いかける発問があり、考えを広げていくことができる。
- 二次元コードから、教材と関連する動画や資料などを活用することができる。
- 巻末に学期ごとのふりかえりシートがあり、切り取り線や色がついていて、提出しやすくなっている。